

優秀賞

## 裁定ストーリー

井上 颯（大学3年生：大阪府）

今回私は、「SNS上の擬似的な親密関係がエスカレートし、未成年がストーカー被害や犯罪に巻き込まれる構造的問題」に着目し、その関係性の変化と社会的介入を体験的に理解できるカードゲームを提案します。本企画では、個人間の問題としてではなく、社会・環境を含めた多層的な構造として描くことを重視しています。取り上げる社会課題はオンライン上のストーカー行為であり、身近なSNS利用の延長線上で起こり得る危険をプレイヤーに実感させることを目的とします。登場人物は主に、ストーカー被害に悩む少女と、その少女に強い執着を抱くストーカーです。加えて、第三の要素として「社会」をカードとして組み込み、父親の介入や通報、運営によるアカウント停止といった外部からの影響をゲーム内に反映させるつもりです。また、環境カードによって時間帯などの外部的要因を取り込みつつ、SNS上の状況といった背景も変化し、関係性に影響を与える仕組みとするつもりです。基本ルールは、ストーカー側が山札からカードを公開し行動を提示、それに対して少女側が手札から対応・反論カードを重ねていく対話型の進行のつもりです。各カードには効果が設定されており、手札の増減や行動制限など戦況を変化させる予定です。ストーカー側は環境カードを利用して少女の選択肢を制限し、依存関係を強めることができます。一方、少女側は介入カードを用いて第三者の力を借り、状況の打開を図ることができます。いずれかのプレイヤーが相手の行動に対して適切に対応できなくなった場合、勝敗コインを獲得し、これを3枚集めることで勝利となります。最終的な結末は、依存関係が維持される「共存」、関係を断ち切る「決別」に加え、犯罪へ発展するエンドや社会的制裁に至るエンドなど複数用意する予定です。本ゲームは、単なる勝敗ではなく、関係の変化とその危うさを体験的に理解させることを目的としています。